

教科	英語	単元名	英語で紹介してみよう
----	----	-----	------------

**本時のねらい**

- ・お気に入りの映画や本の紹介を翻訳アプリで英訳し、表現することができる。
- ・英語で表現することを通して、相手にわかりやすく伝えることができる力を高める。(自立活動)
- ・ロイノート・スクールの各種操作やタイピングを支援学級において自分のペースで学ぶことで、通常学級での取組みにスムーズに参加することができる。(自立活動)

**本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい**

- ・インターネットの翻訳機能を活用し、日本語から英語に訳すことができる。
- ・必要に応じて、インターネット検索を使って調べ学習ができる。
- ・1 人 1 台端末を使用して、相手にわかりやすい資料を作成する。

**活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等**

- ・キーボード
- ・ひよこタイピング (タイピング練習サイト)
- ・ロイノート・スクール (資料作成)
- ・インターネット検索 (翻訳機能)

**本時の展開**

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○タイピング練習をする。  【写真1】	・キーボードの操作に慣れ、パソコンの操作ができるようになると、タイピング以外の IT リテラシー向上にもつながる。
展開 (40分)	○お気に入りの本や映画を英語で表現する ・お気に入りの本や映画について、あらすじや作者名など 4～5 文を日本語で書き、それをインターネットの翻訳機能を活用して英語で表現する。 【写真2】 ○ロイノート・スクールのカードに、翻訳した紹介文を書く。 ○完成したカードを提出箱へ提出する。 【写真3】 ○作成した紹介文を読む練習をする。	・インターネットの翻訳機能を活用することで、英単語や英文を確認できるだけでなく、それらの発音も確認することができる。 ・ロイノートを使用し、自分の意見を「分かりやすくまとめる」という視点で取組みを進める。
まとめ (5分)	○作成した紹介文を確認し、次回の活動に向けて、発表のしかたに見直しをもつ。	

**1 人 1 台端末を活用した活動の様子**



【写真1】 タイピング練習の様子



【写真2】 日本語から英語に翻訳している様子



【写真3】 完成したものを提出箱に提出している様子

**児童生徒の反応や変容**

- ・1 人 1 台端末を活用することで、英語のつづりや英文を自分で確認できていた。
- ・課題以外にも生徒自身が英訳してみたい言葉や文に興味をもって調べたりして楽しむ様子が見られた。

**授業者の声～参考にしてほしいポイント～**

- ・インターネットの翻訳機能を利用することで、意欲的に英語を使うことができる。
- ・ロイノート・スクールを使って課題を提出する等を個別に練習することで通常学級での取組みにもスムーズに参加できる。
- ・タイピング練習は授業の始めに毎回継続して行っている。